学習内容報告書 フォーマット

学校名	益田市立戸田小学校
授業者	川瀬遥子

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

「ひとまろの里」の海と仲良くなろう～ＳＤＧｓの視点から～

1-2.　学年

5 年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間，国語

1-4.　単元の概要

海を中心として，ＳＤＧｓの視点から環境課題について興味関心を高め，自然を大切にすると共に自分たちにできることを考える。

〇中心となる活動

・海洋調査（環境・漂着物等）による海の環境課題を知る学習

・専門講師によるＳＤＧｓの視点から地球規模の環境課題を把握し理解する学習

・地元の漁師さんのお話を聞き，地元の海を中心とした環境課題を深める学習

・地域や市内の小学生へのプレゼン（情報発信）のための広げる学習

1-5.　単元設定の理由・ねらい

海の近くで成長してきた子どもたちではあるが，実際に海で遊ぶ経験が少ないのが実態である。地球規模の環境課題に気づき，自分たちの生活圏の中にある海も例外ではないことから自分事としての理解を深め，自分たちにできることを考え，自然を大切にしていこうとする意欲をもたせるため，この単元を設定した。

1-6.　育みたい資質や能力，態度

〇身近な自然である海に関心を持ち，小野の豊かな海を守る意欲を持つ。

〇地球規模の環境問題についてＳＤＧｓの視点から課題をとらえ，自分の生き方について考える。

1-7.　単元の展開（全３５時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
6	○海を中心とした地球規模の環境課題を見つけよう ・ 自分の環境問題に関する知識をまとめ，これからの学習の見通しをもたせる。	○ 環境問題について知っている知識を確認し，これからの学習の見通しをもたせる。
2	○身近な自然環境と地球温暖化について説明を聞く。 ・地球規模の環境課題を理解し，調べていこうとする意欲を高める。	○自分が調べたことと説明を聞いた内容とを統合させ，今後の追究意欲を高める。 外部連携：エコサポしまね，NPO 法人コアラッチ
2	○地域の漁師さんに会う。 ・ 漁師さんのお話を聞き，地域の海や漁師さんのお仕事について知る。	○漁師の方の話を聞き，漁師さんの仕事や海について知識を深めることができるようにする。 外部連携：飯浦漁師　宮野さん
4	○漂着物調査を行う。 ・ 漂着しているゴミの種類や量などを調べる。	○漂着物について関心がもてるよう，実際に漂着物を拾い，調べる。調べ方について産業廃棄物課の方に指導していただく。 外部連携：島根産業廃棄物課
7	○環境問題について調べよう ・ これまで見てきたことをまとめ，調べ学習の課題を決め，今後の学習予定を立てる。	○これまで学習したことを付箋にまとめ，仲間分けさせる。その中から調べてみたい課題を考えさせ，自分の調べ学習の課題を決めさせ，学習の見通しをもたせる。
2	○地球温暖化対策～クールチョイス作戦会議～ ・これまでに調べてきた学習の中間発表を行い，互いに意見交流することで考えを共有し，自分たちにできることについてアイディアを出し合う。	○これまでの学習を中間発表させ，それぞれが調べる課題について共有させる。 ○自分たちにできることを主体的に考え，さらに追究し実行しようとする意欲を高める。 外部連携：エコサポしまね，NPO 法人コアラッチ
2	○自分の調べたい課題を追究しよう。 ・ ここまでの学習を通して，さらに調べてみたいこと，興味のあることを見つけ，自分の調べ学習の課題を深める。	○これまでの学習で気づいたことをまとめさせ，疑問点とその解決方法について考えさせる。
8	○自分の課題について調べよう。 ・ 自分のテーマについて本やインターネットを使い調べる。	○自分のテーマについて調べさせる。どう調べて良いかわからない児童に対しては，これまでの活動をふり返らせ，自分の地域ではどうかということを考えさせる。
2	○調べてきた学習を広めよう。 ・市内の小学生との交流時，これまでの学習成果を発表し意見交流する。	○市内の小学生に考えを広めることで，調べてきたことに対して，今後より主体的に考えていこうとする意識を喚起させる。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また，複数の時間についてご記入いただける場合には，この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　３５　時間中の　７～８　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

身近な素材をテーマにＳＤＧｓの視点から，地球規模の環境課題から地元の海などローカルな環境課題との関係のつながりに気づき，環境課題に対する興味をもち追究しようとする意欲を高める。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
１．本時のめあてを確認する。 身近な自然環境と地球温暖化について考えよう	
２．環境とは何か考える。 ○自然や環境を守る取組や環境についてのイメージを話し合う。 ・３Ｒについて勉強して出来ることをやっている。 ・環境を守らないと大変だ。	○４年時までの学習を想起させ，地球環境課題について互いのイメージを共有させる。
２．地球環境を守ることについて考える。 ○ニュースや新聞，インターネット等で今まで聞いたことがある地球規模の環境問題について話し合う。 ・海洋汚染 ・大気汚染 ・森林伐採	○ＳＤＧｓの視点から，地球規模の環境課題から身近な環境課題について理解させ，地元の海も世界に広がっていることに気づかせる。
３．地球温暖化について説明する。 ○地球温暖化がもたらす海洋環境の変化，農業被害や飢餓，食品廃棄について理解する。	○地球規模の様々な環境課題があることを理解させ，身近な海も例外ではないことに気づかせる。
４．学習のまとめ ○地球規模の環境課題について，自分事として振る舞いを変えることが，環境課題解決につながる。	☆地球規模の環境課題について，身近な海も例外ではないこと，自分事としてとらえようとしている。 （発言，振り返りシート）

3.　今回の活動の自己評価

環境課題について，ＳＤＧｓの視点から地球規模の課題と身近な海の環境課題について現状を知ることで課題意識をもたせて取り組んだ。より詳しい理解を促すためそれぞれの道に明るい専門の方を講師として招きお話を聞く機会がもてたことも，子どもたちの課題意識の高揚のために効果的であった。実際，子どもたちは個々に様々な環境課題をテーマとして調べ学習を進めてきた。

調べた内容について，市内の小学生との交流時に成果発表や意見交流を行った。子どもたちは多数の質問を受けたが，想定外の質問に対しても堂々と自分事として答え，考えを説明することができた。

本単元の後，調べた内容を学習発表会で発表し，撮影した動画を地域の方にも見ていただいた。見ていた保護者や地域の方より，「よく調べて発表していることが分かった。自分たちも出来ることをしていかなくてはと思った。」等といった感想をいただくことができた。

4.　今後の課題

今回，世界規模の環境課題に触れる学習も組み込んだ学習を行ってきた。昨年度の課題として挙げていた，「海と森林のつながり」については，コロナ禍の影響で実現できなかった。しかし，海と森林は繋がっていて切り離すことはできないと考えた。海を中心として地球規模の環境課題，そこから関連していく森林などの自然についても深めていく活動を取り入れていければと考える。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

特になし

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真，画像，図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝，10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm，左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし，複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。